

令和7年8月6日
北九州市産業経済局

報道機関各位

令和7年度 北九州 DX 大賞 募集のお知らせ

北九州市内の中堅・中小企業における DX 優良事例を表彰します！

北九州市では、市内企業が実施するDXの取組を支援することにより、事業変革や生産性向上につなげ、競争力の維持向上を図っています。この取り組みを通じて、経済産業省が全国の中堅・中小企業向けに実施する「DX セレクション」において、全国の自治体で唯一、4年連続で市内の企業が受賞するなど、DX のモデルとなる企業が生まれております。

このような中、より多くのDXによる事業変革に取り組む企業の創出や、DXをより一層推進していくことを目的に、優良事例となる取組を行っている市内中堅・中小企業を募集します。

記

1 募集期間

令和7年8月8日(金)から

令和7年10月10日(金)まで

※受賞者は11月以降に公表予定です。

2 対象企業

北九州市内に本社もしくは事業所を有する

中堅・中小事業者



令和5年度(第1回)表彰式の様子

3 審査項目

経済産業省が、企業価値向上に向け実践すべき事柄としてとりまとめている「デジタルガバナンス・コード」の項目を中心に審査します。

4 表彰数

グランプリ 1社、準グランプリ 2社、優秀賞 複数社

※グランプリ、準グランプリについては経済産業省「DX セレクション」に推薦します。

5 過去の受賞企業

別紙参考資料



【問合せ先】

産業経済局 中小企業振興課
担当: 藤原(課長)、竹本(係長)
電話: 093-873-1433

■令和5年度北九州DX大賞 受賞企業および各社の取組概要

【グランプリ】

	取組
株式会社 西原商事 ホールディングス	自社の業務の生産性向上を実現するだけでなく、これをサービスに発展。ビジネスの範囲が北九州市内だけに留まらず、全国への展開を実現している。近年では脱炭素などにも資するサービスへとさらに展開を続けており、DXだけでなくGX（グリーン・トランスフォーメーション）に向けて自社の変革を続けることで、社会課題の解決にも取り組む。

【準グランプリ】

	取組
株式会社 戸畑ターレット 工作所	生産ラインの課題をデジタル技術により解決。その中での経験・ノウハウに基づき、自社だけではなく地域の活性化に貢献すべく、外部の組織とも連携し、地域の製造業DXにおけるけん引役として活躍。「製造業DXコーディネーター」を新事業として立ち上げる。
松本工業 株式会社	主力事業である自動車部品メーカーからの加工受託が抱えている課題に対して、デジタル技術を活用し、脱炭素にも資する独自の溶接レス工法やスマートファクトリー生産システムの開発に取り組むことで、自ら市場を開拓できるメーカーへの変革に取り組む。

【優秀賞】

	取組
株式会社 EV モーターズ・ ジャパン	高品質なEV製品、マネジメントシステムの提案およびEV活用による社会的合理性の確立に向けた、人の経験に頼らない工場稼働や独自技術の確立による優位性の確立に取り組む。
クラウン製パン 株式会社	衛生管理や深刻な人手不足に対して、効率的な組織経営を実現するために、経営者や管理層が事業活動の状況を把握し適切に指示できる社内システムを構築に取り組む。
株式会社 ケントク	労働者の健康管理・安全管理・情報共有を効率的に実施するとともに、これをシステムとして同じ地方建設業界に展開していくことで、建設業界の活性化を図る。
株式会社 ハピクロ	保育の実務を補助する機器およびシステムを自社で開発することで、職員の実務負担を軽減。このサービスを用いた保育業界のDX推進コンサルティングの実施により保育業界従事者の労働環境改善の促進を図る。

■令和6年度北九州DX大賞 受賞企業および各社の取組概要

【グランプリ】

	取組
社会医療法人 製鉄記念 八幡病院	働きやすい職場環境の実現と医療の質向上、更なる地域医療への貢献を目指し、電子カルテシステムを主軸とした地域連携システム「さらくらネット」の運用を行う。既存の業務を単にデジタル化するだけでなく、各種システムや地域の医療福祉施設と連携することで、患者・職員双方にとって革新的な医療の提供を推進する。

【準グランプリ】

	取組
株式会社 白海	しゅんせつ工事において、作業船の減少・老朽化や後継者の不足などの課題を抱えるなか、デジタル技術を活用した技術の高度化による競争力の強化や社員の熟練度に頼らない生産性の向上を行う。さらに業界内での横展開を図ることで、同様な課題を有する業界全体の変革を先導するリーディングカンパニーとなり、持続可能な経営の実現を目指す。
株式会社 ドーワ テクノス	商社から顧客の課題解決を実現するコンサルティングファームへの変革を目指すため、ビジネスモデルの再構築へ踏み出す。そのために必要なリソースを生み出すため、外部パートナーとの効果的な協力体制を構築し、デジタル技術を活用した社内業務の標準化・効率化を図る。

【優秀賞】

	取組
大英産業 株式会社	デジタルを活用することで新たなコミュニティとコミュニケーション機会を創出し、既存事業の強化と新事業・サービス開発で価値創造を行うことを目的に、「推進基盤（データの一元管理による共通化・効率化・活用）」、「働き方改革（生産性・EX向上）」、「事業変革（社会課題解決・CX向上）」の3つのテーマを設定し取り組む。